

このす民報

議会報告版

2019年10・11月号 第406号

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します。

日本共産党鴻巣市議団
竹田えつ子 すわみつえ
☎542-7072 ☎507-4151
FAX542-7101 FAX596-9440

税金は市民のくらし応援に

**消費増税の上
に
公民館や体育施設の
利用料金も値上げに!**

公民館、テニス場・サッカー場・ゲートボール場など公共施設の利用料金を、1.5倍から2倍に値上げすることが、9月議会で決まりました。

公共施設を利用する人と、しない人との公平性を確保することを目的に、行政と受益者との負担割合を明確にしていくというものです。5年をめどに料金の見直しをすることも打ち出しています。

市民の方から、「スポーツをして元気に過ごしたい、医療費がかからないよう努力しています」

**2020年4月から
18歳まで子ども医療費
窓口負担なしに!**

9月議会は、9月2日から25日までの会期で開かれ、52件の議案について審議しました。

来々年4月から、子ども医療費は18歳まで無料に、窓口負担なしになります。長年の市民の皆さんとの運動が実りました。引き続き、他市の医療機関にかかった場合でも窓口の支払いをしなくて済むように声を上げていきます

「もっと総合的に見てほしい」年金は減らされ、消費税の増税、さらにゲートボール場の値上げでは楽しみが減ってしまいます」との声が寄せられていることを紹介しながら、日本共産党は安心して暮らせるようにするのが市の仕事であり、お互い様の精神で行政は対応すべきであると主張し、公共施設の利用料金や手数料の値上げに反対しました。

2018年度の鴻巣市の一般会計は、約384億円です。合併後13年が経過し、鴻巣市駅東口駅通り地区再開発事業など合併特例債を総額で約298億円使って事業を進めています。そして2018年から2023年までが返済のピークとして、鴻巣市は財政調整基金(約26億円)をはじめ、国保運営基金なども含め、合計で106.5億円の基金(ため込み金)を積み立てています。

一方で、敬老祝い金1万円を順次減らし、昨年度は5000円にしました。市民のくらしが大変な時に、基金を積み立てるより、暮らし応援のために使うよう求めて、決算認定に反対しました。

**税金は大型開発よりも
市民のくらしを守るために**

法律・生活相談

毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所
法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ

郵送による選挙公報配布を

鴻巣市では、選挙公報の配布は新聞折り込みと公共施設等への配置で行っています。新聞未購読の高齢者で、公報を受け取ることが困難な方がいます。新聞未購読世帯の方で郵送による選挙公報の配布を希望される人への対応をしている自治体があることから、鴻巣市でも取り入れるよう、すわみつえ議員が求めました。

選挙管理委員長からは「検討する」と答弁がありました。今後、改善されることを見守ります。

いのちを守る国保制度 安心の介護保険制度に

2018年度、国民健康保険は県との共同運営となり、市は国保税を5・6%も値上げしました。市の国保加入世帯の7割は課税所得100万円以下の世帯です。高すぎる国保会計であることを指摘し、決算に反対しました。引き続き国保税引き下げのために頑張っていきます。

また昨年度は、介護保険料も2・3%値上げしました。高い保険料を払っているにも関わらず、要支援1、2の方は介護の給付から外してしまいました。これからの、安心の介護保険制度にするために頑張っていきます。

グリホサート請願書は不採択

市民が提出された「グリホサート」を成分とする除草剤の使用・販売の制限を求める請願」は議会最終日の本会議で採決されました。「被害が現実にならないよう、予防原則の観点」から竹田えつ子議員が賛成討論をしました。反対討論はありませんでした。賛成5名、棄権2名、反対18名で不採択となりました。

加藤英樹議員 政治倫理条例に抵触せず

2019年6月定例議会において、議員4名による加藤英樹議員の政治倫理審査請求が議長宛に提出されました。

8月21日(水)9月4日(水)9月27日(金)と3回の審査会が開かれ、政治倫理条例に「抵触しない」とする審査結果報告書がまとめられました。

12月議会日程(予定)

- 11月26日(火) 請願締切り(正午)
- 11月29日(金) 本会議 議案・請願の上程
- 12月4日(水) 本会議 質疑、討論、採決
- 12月5日(木) 文教福祉常任委員会・まちづくり常任委員会
- 12月6日(金) 政策総務常任委員会・市民環境常任委員会
- 12月10日(火)・11日(水)・13日(金)・16日(月) 一般質問
- 12月18日(水) 本会議 委員長報告、質疑、討論、採決



本当がわかる
明日が見える

しんぶん
赤旗

●日刊紙/月3,497円
●日曜版/月930円



憲法、社会保障、原発、雇用、TPP...
「本当のことが知りたい」その思いに
こたえる新聞です。暮らしに役立つ
情報も満載です。



議員 竹田えつ子

消費税10%増税は中止を！ 新ごみ処理施設整備に関して…

消費税10%増税は中止を 求めること

消費税は社会保障の財源として必要と
いますが、東日本大震災・西日本豪雨
災害、そして台風15号の被害など、多くの
方々が生きていくことすら大変な状況にあ
る時に、今増税することはさらにダブルパ
ンチを与えるようなものであり、人間性が
問われると主張し、原口市長に対し、今
の時期の消費税10%は中止することを国に
求めるよう質しました。

市長は、10月からの教育・保育の無償化
をはじめ、今後高齢化が一層進む中で社会
保障の財源として必要であり、国に意見を
出すことは考えていないとしました。
日本共産党は、消費税は廃止に、当面
5%に引き下げる為に頑張っています。
これからも、くらし・地域経済を守るた
めに力を合わせていきましょう！

新ごみ処理施設整備、農業振興 地域からの除外手続きは？

2024年の稼働を目前に、鴻巣行田北
本環境資源組合は、新ごみ処理施設建設
事業を進めています。いまだに施設建設
の総額を明らかにしていません。総額を示
さないまま建設候補地である鴻巣市に対
し、農業振興地域からの除外手続きを行う
などともないことだと思えます。7月
31日に、組合から農振除外の申し出が鴻巣
市長宛に出されていますが、行田・北本両
市長の押印もいままま手続きを進めるのか
質しました。

市は、2013年(平成25年)から6年
にも及ぶ歳月を費やし、取り組んできた事
業であり、農業振興地域からの除外申請も
共通認識のもと申請されたと考えており、
事務手続きを進めていくとしました。
疑問の多い新ごみ処理施設建設です。こ



議員 すわみつえ

給食費の補助 補聴器購入に補助を

幼児教育・保育の無償化は 給食費も無償にすべき

10月から幼稚園・保育園に通う3歳〜5
歳児の無償化が始まります。0歳〜2歳児
に関しては住民税非課税の世帯が対象で
す。すべての子どもの無償化と保育の質を
高めることが求められる中、今回の無償化
で給食費が保護者負担になります。市が独
自に補助を行うよう求めました。

「食事は自宅にいても摂るもので、保育
園にいてもその費用は保護者が負担するの
は当然」「今までも保育料に含まれていて、
今回の保育料無償化で給食費だけ負担に
なるわけだから保護者にとっては軽減だ」
という考えのもと、市は独自補助を行わな
いという答弁でした。

「給食は食育で保育の一環」「この間、1
00を超える自治体で独自に給食費補助
を決めている。子育て日本一を提唱する鴻
巣市でも補助するべき」と再考を求めまし
たが応じる答弁はありませんでした。

私立保育園での事務量増加に 対する対策を

保育にかかわる公定価
格の事務費では事務が賄
いきれない実情がありま
す。新たに給食費徴収の
ための事務が増えること
は現場からの声です。市
が独自に事務員雇用のた
めに補助することを求め
ました。

答弁は、給食費滞納者
が出たときの「支援方法」
だけに留まりました。



れからも市民の声が活かされた良いごみ処
理施設にするために、勉強しながら運動を
進めていきます。

引きこもり対策の強化を

岡山県総社市は、「全国屈指の福祉先駆
都市をめざす」として全国初の引きこもり
支援センターを設置し活動しています。先
進例に学び、本市でも抜本的な支援体制
をとることを求めました。

市は、現在の状況をオープンにしたくな
い家族が多い現状では、家族会のたちあげ
や、当事者の居場所開設までは実現困難と
考えられるので、支援のきっかけとなる相談
窓口が確実につながるよう周知を徹底して
いきたいと答えました。

他に県道内田ヶ谷鴻巣線の天神5丁目
の歩道整備について、鴻巣駅東口駅通り地
区再開発事業について、学校の制服のジェ
ンダーフリー化について質問しました。

台風15号・19号で被災された皆様
に心よりお見舞い申し上げます。こ
もにも、犠牲になられた方々に心よ
り哀悼の意を表します。

認知症予防に有効な 補聴器購入の補助を

年を取ると耳が聞こえづらくなります
が、自身では気づきにくく、回りから指摘
されて初めて気づきます。市が行う基本健
診・特定健診に聴力検査を位置づけ早期に
発見し、補聴器を使うことで生活の質を高
めることが認知症予防になると考えます。
補聴器は高額ですので、公費の補助を求
めました。

残念ながら国や他自治体の動向を見守
るとの答弁でした。

特養ホームの新設はあるか

鴻巣市には特養ホームは9施設あり、今
年4月1日の待機者数は185人です。昨
年4月1日の待機者は168人で、昨年1
年間の入所者数は189名でした。申請し
て1年ほどで入所できたように思います。

県の計画で特養ホーム新設に対して、県
が8月9日締め切りで募集しました。鴻巣
市でこの募集に応募があったか質問しまし
た。

「既存施設の増床や新設の問い合わせは
あったが応募したかどうか把握していな
い。来年の県の認可決定を待つ」という答
弁です。